

熱海がなぜか伊豆高原に？

医療秘書科支部 池田貴子

2月に伊豆高原に行きました。

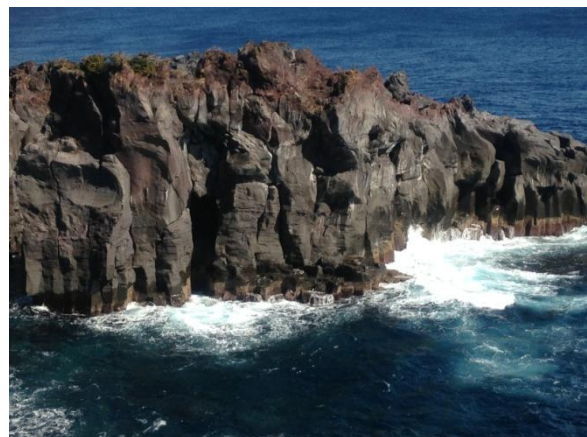
伊豆高原を目的地にしていたわけではなく、東京での用事をすませてから夜は温泉につかり美味しいものでも食べようと熱海近辺に宿をとったつもり（姉）で、18時頃には宿に到着できると思っていたのですが、予約した宿は熱海から電車を乗り継いでさらに1時間もかかる伊豆高原にあり、宿に着いたのは20時頃になってしまいました。行き当たりばったりで、下調べをしていなかった結果です（信じられな〜い）。

はからずも伊豆高原に泊まることになったのですが、伊豆高原駅から宿に向かうタクシーで運転手さんが、伊豆半島がフィリピン海プレートに乗って日本列島に衝突してできた半島であることを教えてくれました。ネットで調べてみると、4000万年前に現在の硫黄島のあたり（東京から南方におよそ1,200km）に伊豆半島の元になる海底火山がプレートに発生し、それから海底火山が噴火堆積を繰り返しながら年間4センチほどの速度でプレート境界線の東の端にある日本に向かって移動しつづけ海底から顔を出したのが、本州から40kmほどに近づいたときに200万年くらい前のことだそうです。ほぼ現在の形になったのは、20万年くらい前だそうです。

何せ無計画な旅なので、翌日は宿でもらったパンフレットを頼りに行きたいところを決めました。まず、伊豆高原にある①伊豆ガラスと工芸美術館を見てから②大室山（標高580mの山頂に直径300mのすり鉢状の噴火口を持つ休火山で全山カヤにおおわれています。山頂からは相模湾に浮かぶ大島、伊豆七島から天城連山、富士山、箱根へ続く山並へと360度の大自然の大パノラマの眺望を楽しむことができます。）にリフトで登り、その後タクシーで③城ヶ崎海岸に行きました。城ヶ崎海岸は、ドラマなどの断崖シーンのロケ地としても多く使われているそうです。また、城ヶ崎海岸には門脇吊橋（長さ48m、高さ23mの海の吊橋）があり、断崖絶壁のスリルを味わうことができました。城ヶ崎海岸からまたタクシーで④伊豆四季の花公園に行き梅や寒桜などの花々を見て楽しみました。最後は伊豆高原駅から伊豆急行リゾート21に乗り、海側に向かって並ぶパノラマシートから海岸線を愛でながら熱海に戻りました。

なお、夕食用に伊豆高原駅で金目鯛の塩焼き弁当を買いました。

無計画ではありましたが、結果的にテンコ盛りの充実した楽しい旅になりました。



次は、医用デザイン科支部の小郷広記支部長にバトンをお渡ししますので、よろしくお願い致します。